



中村電設株式会社のエースとして活躍する出来田泰二は、社員の先頭に立って品質面や安全面の向上に努めている。仕事における自身のこだわりと、会社が発展していくうえで解決すべき課題について聞いた。

品質へのこだわりを持って

入社する以前から、電気工事に従事しており、個人事業主の親方とともに大阪、和歌山、兵庫などの近畿圏を中心にさまざまな現場を回って経験を積んだ。そのようななかで中村電設の仕事にも関わるようになる。「正式に社員になりませんか」と声をかけられたのは、5年ほど経ったときだった。それまでは、その日その日の現場から直行直帰する毎日だったが、社員になったことで、1つの現場に専念できるようになったのがよかったと

思っている。

自身がこだわっているのは、品質。長く残るものなので、誰が見てもプロが担当した仕事だとわかるように仕上げたいと考えている。電線に傷が入ったり、曲がりキツすぎたりしてしまうと耐久力は落ちる。施工が悪ければ30年持つものも、



20年しか持たなくなってしまう。高い品質を保つためにも、技術のスキルアップや専門知識の習得に力を入れていこうと心がけているのだ。また工場とは異なり、現場ではその都度、作業内容が異なるため、適切な方法を判断しながら作業を進めていかなければならない。後輩たちにも同じように動いてもらえるだけの技量を、しっかりと身につけていきたいと思っている。

的確な作業を心がける

安全面で気をつけているのは、周りをよく見て行動することだ。現場には危険な箇所がたくさんある。周囲の状況を理解して動くのと、そうでないのでは結果がまるで違う。どのスイッチが、どのような働きをするのかをきちんと把握して作業に臨むことが大切だ。

まだ右も左もわからなかった新人時代に、何度か手痛い失敗を経験した出来田。過去には、「その電線を切っておいて」と言われて、検電をせずにそのまま切ってしまったこともあった。100Vや200Vの低圧ならばまだしも、6000Vの高圧電線ともなると、慎重に扱わなければ大事故につながる。ケーブル線の端末処理などを、いかに正確にできるか。品質に直結する部分だけに、作業者の実力が問われるところだという。

段取りの重要性を実感

工程を考える際、あわてず落ち着いて作業ができるように、日数や時間、人数に一定のゆとりを持たせて予定を組んでいる。社員になる前に手伝いで現場に入っていたころは、残業が当たり前の時代。夜の12時を超えてしまう日も珍しくなく、睡眠時間がほとんど確保できない時期もあった。とくに製鉄所の生産ラインの工事では、設備をストップさせている時間は限られており、定められた期間内にすべてを完成させなければならなかったのだが、作業量に対して人の数が少なかったため、連日残業になってしまったのだ。



10年前とは労働環境がだいぶ変わり、今は深夜まで残業するほどの現場はないが、ある程度の余裕を持った工程を組むことの大切さを痛感した出来事であった。

未来を担う若手の育成を

より大きな仕事にチャレンジするには、若い世代の力が欠かせない。自分たちの業界に、20代や30代の若者が1人でも多く入ってきてほしいと願っている。

そのためにも、人材を増やす努力はもちろんだが、入社後の育成についても、きちんと整備していく必要性を感じている。「見て覚えろ」という考え方は、今の時代には通用しづらい。現場ごとに作業の内容が異なるため、一通りの技術を身につけるまでに相当な時間がかかってしまう。できれば技術的な指導をする専門のスタッフをつけて、長いスパンで指導をしていくのが望ましいと感じている。実際にそこまでの時間と人手をかけるのは難しいかもしれないが、それでも今は、インターネットで調べたり、YouTubeなどの動画を視聴したりして学習できるので、そういったツールをうまく活用しながら若手を育てていくことも可能なはずだ。今後もこの仕事のやりがいを次の世代にしっかりと伝えつつ、会社の発展に貢献していく所存である。

後進を増やすためにも、長く働ける環境を整えていきたいと語る出来田。向上心を胸に、これからも走り続けていく。

人に歴史あり!

私のシゴキ

様々な経験を持つ方が集う中村電設。それぞれどんな人生を歩んできたのか、意外と知らないことも多いのでは?今回は、海外での経験により価値観が大きく変わったという齋藤さんにズームイン!メリハリを大切にしているという、休日の過ごし方についても教えてくださいました。仲間の経験や考えを知ることで、新たな視点をみてください!



さいとう ふうま
齋藤 風馬さん

●入社経緯

甘えられない環境で自分を磨きたい!

前職でも、現在と同じ電気関係の仕事をしておりました。幅広い業務に携わり、様々な経験を積むことができたと思っています。しかし、常駐ではなく、毎日違う現場で作業を行うというスタイルだったので、時間が不規則で状況も不安定。親戚が経営する会社であったことから、甘えが生まれてしまいやすい環境でもあったため、このままで良いのだろうかと考えるように。厳しい環境に自ら身を置き、成長していくために転職を決意しました。自分を鍛えることができる環境で、安定して働きたいという希望をすべて叶えられる中村電設にご縁をいただき、今に至ります。

●前職で学んだこと

価値観が一変!海外での経験が今の自分を育てた

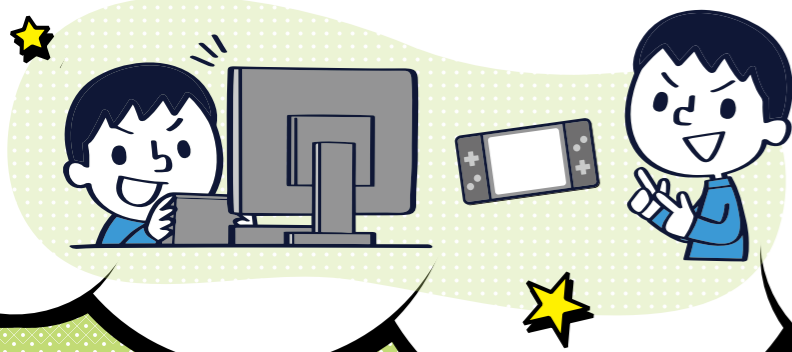


前職では系列の工場が海外にあったことから、1年の3分の1をアメリカで過ごしていました。当初は英語が話せませんでしたが、徐々にヒアリングができるようになり、ボディランゲージも織り交ぜながら会話ができるまでに成長。個人的には、アメリカの**自由であることを重視する風潮や、スピード重視の仕事の仕方が大好き**で、マッチしていると感じていました。アメリカでの経験や、そこで新たに得た視点は、今の自身の人間性や仕事観にも大きな影響を与えたと思っています。大変貴重な経験をさせてもらったと感謝しています。

●趣味・休日の過ごし方

休日を目いっぱい楽しみ、平日の疲れをリセット!

趣味はゲームでパソコン・スマホなどツールは問わず幅広く楽しんでいます。平日は仕事が忙しく、プライベートの時間が取りづらい分、休日は外出して思いっきり楽しむことがマイルール。観光地巡りをするなどして、非日常を感じ、リフレッシュできるように心がけています。



社長からの

激励メッセージ

~第1弾~

中村 守さんへ

- ①ときどき建設に関わる大きな案件を丸投げすることがありますが、そこをしっかりと無事に完工してくるため、助かっています。
- ②2025年に、外部での建設工事を受注するかもしれません。その際はまた、頼りにすることになると思いますがよろしくお願いします。

野村 哲弘さんへ

- ①現場において安全監視や補助者としてその才能を遺憾なく発揮してくれています。また、管理サイドにも意見をしてくれる存在です。
- ②ご両親の介護と仕事を両立することは、なかなか難しいと思いますが、無理をせずに頑張ってください。相談があれば気軽にお話しください。

社長からいただいた社員の皆さんへのメッセージをお届け!今回は4名の方へ、スペシャルなメッセージをお送りします。次号以降でも、皆様へのありがとうをお届け予定です。ぜひ楽しみにお待ちください!

質問事項 ①特に優れているところ ②激励のメッセージ

池田 篤史さんへ

- ①安全監視や指揮者として活躍してくれています。足場や、玉掛けの知識と技能も持ち合わせているので、協力会社に仕事をしてもらっているときは、監督業を任せています。こちらから頼んだ仕事は断らない、頼れる性格の持ち主。
- ②持病の完治は難しいかもしれませんが、まずは家族のことも考えて、自らを大事にしてください。資格の取得もどんどんお願いします。

山本 篤司さんへ

- ①若い子を引き連れて色々な作業をしてくれます。最近は特に色々なことにチャレンジしている、成長株の1人。
- ②引っ越しも無事に終わり新たな生活がスタートしていると思いますが、個人的なことや仕事で必要なことも、どんどん新しいことにチャレンジしてほしいと思います。引き続き、資格の取得を目指してください。

社内システム活用法!

出張手当申請書編

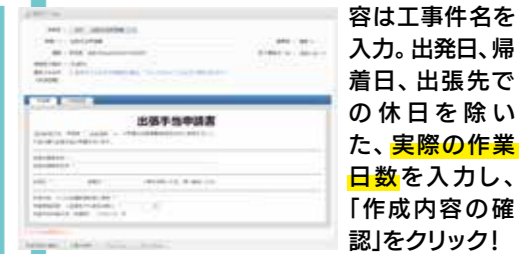
社内にある便利なシステム。わかっていても、なかなか活用できていない方も多いのではないのでしょうか。今回は、出張手当の申請方法を紹介します!ぜひ今後の業務にお役立てください。

出張手当の申請方法

①「メニュー」内の「ワークフロー」を開き、「申請書の作成」を選択します。申請書選択というタブが開くため、一番下の「出張手当申請書」を選択し、確認で「はい」を選択します。



②申請者と日付が自動的に表示されます。事業所名は出張先の会社名と工場名、住所は当該工場の住所をそれぞれ入力し、作業内容は工事事件名を入力。出発日、帰着日、出張先での休日を除いた、**実際の作業日数**を入力し、「作成内容の確認」をクリック!



③作成内容を確認し、誤りがなければ「作成」をクリックし申請完了です!

